

令和8年度から、専攻の区分「音楽」の修得単位の審査の基準を改正します。改正後の審査基準による学位授与申請の受付は、令和8年度4月期からとなりますので注意してください。

専攻の区分

専攻分野の名称

58 音楽

芸術学

芸術の中で、時間的芸術分野に当るものが「音楽」である。そこには、音楽理論・作曲に関する領域、演奏に関する領域、音楽学・音楽史に関する領域、音楽教育・音楽療法に関する領域の4つの領域がある。したがって、これらの領域・内容について学修した上で、人間と音楽との深い関わりから学修のテーマを考えることが望ましい。学士の学位を得るためには、質の高い演奏技術や音楽理論、世界中の伝統音楽やあらゆるジャンルの音楽、現代社会での音楽等を、広い視野に立ってバランスよく学修することが求められている。学士のレベルとして、「演奏に関する科目」の区分を含み3区分以上にわたることが求められているが、音楽の学修をより質的に高めることから美術、演劇など、芸術全般にわたって学ぶことも大切である。

● 修得すべき専門科目と関連科目の単位 (62 単位以上)

専攻に係る授業科目の区分	専門科目 (40 単位以上)	
	<input type="checkbox"/> <u>音楽理論</u> ・作曲に関する科目 <input type="checkbox"/> 演奏に関する科目 (4 単位以上) <input type="checkbox"/> <u>音楽学</u> ・音楽史に関する科目 <input type="checkbox"/> 音楽教育・ <u>音楽療法</u> に関する科目	左の区分のうちから「演奏に関する科目」の区分を含み3区分以上にわたること
	関連科目 (4 単位以上)	
	<input type="checkbox"/> 文化史・文化論に関する科目 <input type="checkbox"/> 哲学に関する科目 <input type="checkbox"/> 外国語に関する科目 <input type="checkbox"/> 民俗学に関する科目 <input type="checkbox"/> 社会学に関する科目 <input type="checkbox"/> 心理学に関する科目 <input type="checkbox"/> 教育学に関する科目 <input type="checkbox"/> 情報科学に関する科目 <input type="checkbox"/> 美術に関する科目 <input type="checkbox"/> 演劇学に関する科目 <input type="checkbox"/> 経済学・商学・経営学に関する科目 <input type="checkbox"/> 生理学に関する科目	

■ 専門科目の例 ■

- 音楽理論・作曲に関する科目  
音楽通論、楽曲分析、楽式論、ソルフェージュ、スコアリーディング、和声学、対位法、作曲法、編曲法、管弦楽法、電子音楽（コンピューター音楽）など
- 演奏に関する科目  
 独唱、重唱、合唱、指揮法、ピアノ、オルガン、弦楽器、管楽器、打楽器、伴奏法、室内楽、吹奏楽、管弦楽、雅楽、民族楽器、日本の楽器（箏、太鼓等）、電子楽器、ジャズ、ポップス、舞踊など
- 音楽学・音楽史に関する科目  
 音楽美学、西洋音楽史、東洋音楽史、日本音楽史、民族音楽理論、宗教音楽、音声学、楽器学、音楽音響学、音楽心理学、ワールドミュージック論、ジャズ論、ポピュラーミュージック論、音楽マネジメント論、音楽著作権論、音楽出版論、放送メディア論など
- 音楽教育・音楽療法に関する科目  
 音楽教育概論、音楽教育法、音楽教育史、音楽教材研究、幼児音楽教育、音楽教育心理学、音楽療法概論、音楽療法演習、リトミックなど